

# 全県民で豊かさを育み分かち合う

## 「豊かさ共創社会

## 「やまなし」を目指して

### 「可能性を掘り起こした1期目

令和2年からは新型コロナウイルスの対応を余儀なくされましたが、発生当初から長期化をにらみ、先手策をちゅうちよなく実行してきました。県民の皆さんのご理解・ご協力と医療従事者の方々の尽力で、日本を代表する「コロナ安心地域」となりました。改めて感謝申し上げます。

1期目は、山梨県が今後、前進できることを実証した4年間だったと思います。県内の産業や地域資源の可能性を掘り起こし、磨き上げ、新たなブランド価値をつくり上げました。その上で、国内だけでなく海外に提供・発信することに力を入れました。

山梨県が誇るブドウやモモなど県産果実の輸出額は令和3年に17・6億円となり、前年より6割増えまし

た。これが一つの典型例です。

また、再生可能エネルギーから水を製造する本県独自の「やまなしモデルP2Gシステム」は、首相をはじめ国内外の政府要人が相次いで視察するなど注目が集まっています。



2期目就任初日に職員へ訓示を行う長崎知事。庁内でも「集合知」を発揮することで山梨をさらに大きく前へ進められると呼びかけた

県民の生活基盤を強く安心なものとする「ふるさと強靱化」と、国内外に開かれることで富を呼び込む「開の国」づくりの2つの施策を柱に、全県民の手に豊かさをもれなく届ける「豊かさ共創社会」を目指す長崎県政の2期目がスタートしました。

「多くの県民の皆さんからご支持をいただき、寄せられた期待の大きさを感じています。しっかりとお応えしていかなければならない責任の重さに身が引き締まる思いです」と語る長崎幸太郎知事に、2期目の意気込みと目指す山梨の将来像などについて聞きました。

水素製造に力を入れている福島県でも「やまなしモデルP2Gシステム」の実証実験が始まります。

山梨の魅力も知られるようになってきました。本県は、自然環境はもちろん、教育やアクティビティ環境などの充実で、楽しいライフスタイルが実現できる「わくわくする山梨」というイメージが広まったことで、令和3年は転入超過に転じ、転入者数の対前年増加率は全国トップとなりました。昨年も転入超過が続いています。

### 2期目は 20年先を見据えた大事業

2期目は、山梨が持つ可能性を実力に変え、皆さんが豊かさを実感できるよう「2本柱」で県政を進めていきます。

一つ目の柱は「ふるさと強靱化」

です。皆さんの暮らしが安全・安心であることが何よりも大切です。激甚化する自然災害や富士山の噴火などから、しっかりと命を守る体制をつくります。感染症対策についても、さらにシステムを高度化させていきます。「山梨にいれば安全・安心」というまちづくりを強力に進めていきます。

「ふるさと強靱化」を土台として「開の国」づくりを進めるのが二つ目の柱です。1期目で種をまき芽吹いた山梨の可能性を国内外へさらに発信し開花させていきます。観光資源や産業の高付加価値化を通じて、県外からの人の交流を増やし、性別、年齢、国籍、障害などの有無を問わず、多彩な人材が山梨の活性化に参画できる環境を整えていきます。多くの人が集まることで「集合知」が形成され、イノベーションも生まれるでしょう。



この取り組みは山梨の10年先、いや20年先を見据えた大変重要な戦略だと考えています。

「ふるさと強靱化」と「開の国」づくりの基盤の上に、皆さんで豊かさを育んで分かち合う「豊かさ共創社会」を実現していきます。新しい市場をつくり、富を引き寄せ、全県民の手にもれなく届けることで、一人一人が確かに豊かさを実感できるという究極の目標に挑戦していきます。

### 「豊かさ共創社会」を実現

#### ふるさと強靱化

必要な資源や生活、事業、医療環境など生活要素を支えるあらゆるインフラに新しい機能を増強

#### 「開の国」つくり

生活・家庭から各産業、福祉、教育、介護など、全ての局面であらゆる可能性を受け止め、富を導く

### 知事が描く山梨の将来像は

全国に先駆けてヤングケアラーの実態を把握し相談や支援の体制を構築するなど、行政が誰一人取り残さない環境を着実に整えています。全ての県民の皆さんにはご自身の可能性を追求し、その力を遺憾なく発揮し、安心して未来に挑戦していただきたい。その結果、山梨の潜在力が

より一層覚醒され、豊かさに向かって成長し続けられる地域となっていくでしょう。また、この地域で育った若者たちが、山梨のみならず日本や世界の課題を解決し、未来をつくっていく。そうした人材を次々と育て上げる地域を目指していきます。

### 「県民の皆さんにメッセージを

多くのミュージシャンを育てたエンターテインメント会社「アミューズ」が本社を富士河口湖町の西湖へ移転したことに象徴されるように、山梨県がさまざまな可能性を秘めていることに多くの人が気付いています。県民の皆さんには「ふるさと山梨」にさらなる自信を深め、山梨の可能性を花開かせる運動にぜひ参加していただきたいと思っています。皆さんが参加できる環境は行政がしっかりと整えていきます。

皆さんがそれぞれの理想や希望に向かって前へ歩んでいただければ、一人一人が持っているものを含めてあらゆる可能性が花開き、他の地域に類を見ないような成長を続け「豊かな暮らし」が実現しているに違いありません。これからの県政にご期待をお寄せいただき、私たちと一緒に歩んでくださいますようお願い申し上げます。